

平成23年度公共用水域及び地下水水質測定結果の概要について

H24. 6 環境政策課

県内の公共用水域及び地下水について、「平成23年度公共用水域水質測定計画」及び「平成23年度地下水水質測定計画」に基づき、島根県、国土交通省、関係市町が実施した水質調査の概要は次のとおりである。

1. 公共用水域の水質

(1) 健康項目

人の健康の保護に関して環境基準(健康項目)が定められているカドミウム等27項目について、12河川、3湖沼、10海域の計59地点で測定したが、すべての地点で環境基準を達成していた。

(2) 生活環境項目

水質汚濁の程度を表す生物化学的酸素要求量(BOD)又は化学的酸素要求量(COD)、全窒素(T-N)、全リン(T-P)等10項目について、県内の66河川、3湖沼、10海域において測定した。環境基準の類型あてはめが行われている13河川21水域、3湖沼3水域及び10海域10水域、計34水域における環境基準の達成状況は以下のとおりであった。

ア. 河川

有機汚濁の代表的な水質指標であるBODの環境基準達成状況をみると、21水域中19水域が達成しており、達成率は90.5%であった。【別表1】

【別表1】 河川の水域別BODの環境基準達成状況(BOD75%値の経年変化)

区分	水域名		環境基準			H18	H19	H20	H21	H22	H23
			類型	基準値	地点数						
広い流域を持つ河川	江の川	全域	A	2 mg/l	3	0.7	0.5	0.7	0.8	0.6	0.6
	斐伊川	本川	A A	1 mg/l	2	0.7	0.7	0.6	0.6	0.8	0.6
	高津川	上流	A A	1 mg/l	2	<0.5	<0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
		下流	A	2 mg/l	1	0.5	0.5	0.7	0.7	0.5	<0.5
	神戸川	上流	A A	1 mg/l	2	0.6	0.6	0.8	1.0	1.0	0.8
		下流	A	2 mg/l	2	0.5	1.0	0.8	1.0	0.9	0.6
都市部を流れる河川	浜田川	上流	A A	1 mg/l	1	<0.5	0.6	0.5	<0.5	<0.5	0.7
		下流	A	2 mg/l	2	1.6	1.2	0.9	0.8	1.5	1.2
	益田川	上流	A A	1 mg/l	1	<0.5	<0.5	0.5	<0.5	0.7	<0.5
		中流	A	2 mg/l	1	0.5	0.5	0.8	0.5	0.6	0.6
		下流	C	5 mg/l	1	9.6	7.6	7.9	6.5	7.4	6.0
	静間川	全域	A	2 mg/l	2	0.9	0.8	0.6	0.8	1.0	0.8
	朝酌川	全域	B	3 mg/l	1	2.0	1.8	2.4	2.2	2.8	1.4
	山居川	全域	D	8 mg/l	1	2.4	2.6	3.0	1.4	2.0	2.0
	馬橋川	全域	C	5 mg/l	1	1.9	1.4	1.5	1.2	1.6	1.1
	忌部川	上流	A A	1 mg/l	1	1.1	2.0	1.7	1.5	1.5	1.3
		下流	A	2 mg/l	1	1.0	1.6	1.2	0.9	0.9	0.6
	平田船川	上流	A	2 mg/l	1	1.2	1.2	1.4	1.6	1.2	1.2
		下流	A	2 mg/l	1	1.4	2.0	1.9	1.7	1.3	1.2
湯谷川	上流	A	2 mg/l	1	1.0	1.2	1.1	1.2	0.8	1.0	
	下流	A	2 mg/l	1	1.2	1.4	1.2	1.2	1.0	1.0	

注) 表中の経年変化数値については、各水域において環境基準地点が複数ある場合は、その中で最も高い数値の地点の値を記載。また、**太字** は基準達成したもの(経年変化数値の単位はすべてmg/l)

1. 湖沼

中海、宍道湖及び神西湖の3湖沼3水域で、有機汚濁の代表的な水質指標であるCODや、T-N、T-Pの環境基準達成状況をみると、3湖沼とも、いずれの項目も環境基準を達成しなかった。【別表2】また、宍道湖では8月から12月までアオコが確認された。

中海及び宍道湖では湖沼法に基づく湖沼水質保全計画(平成21年度策定)に基づき、水質目標を定め、総合的に対策を進めている。神西湖についても水環境保全指針(H16年度策定)に基づき対策を進めている。

【別表2】 湖沼の水域別CODの環境基準達成状況(COD75%値の経年変化)

水域名	環境基準			H18	H19	H20	H21	H22	H23	湖沼水質保全計画のH25年度目標水質
	類型	基準値	地点数							
中海	A	3 mg/l	1 2 注1)	5.9	5.6	6.0	5.9	5.3	5.4	5.1 mg/l
宍道湖	A	3 mg/l	5	4.8	6.2	6.1	5.5	5.9	6.1	4.6 mg/l
神西湖	B	5 mg/l	2	6.6	6.7	7.0	6.3	6.9	6.0	—

注1)鳥取県域3地点を含む

注2)表中の経年変化数値については、各水域において環境基準地点が複数ある場合は、その中で最も高い数値の地点の値を記載。また、**太字** は基準達成したもの(経年変化数値の単位はすべてmg/l)

ウ. 海域

有機汚濁の代表的な水質指標であるCODの環境基準達成状況をみると、10海域中9海域で環境基準を達成し、達成率は90%であった。【別表3】

【別表3】 海域の水域別CODの環境基準達成状況(COD75%値の経年変化)

水域名	環境基準			H18	H19	H20	H21	H22	H23
	類型	基準値	地点数						
浜田川河口海域	A	2 mg/l	3	1.7	2.1	1.7	1.7	1.6	1.8
美保湾	A	2 mg/l	2	2.6	2.0	1.8	2.0	2.1	1.7
江の川河口海域	A	2 mg/l	3	2.0	2.0	2.0	1.7	1.8	1.7
海岸 出雲部	北浦海水浴場	A	1	1.5	1.7	2.0	1.9	1.9	1.4
	古浦海水浴場	A	1	1.9	1.9	1.8	1.8	2.1	2.8
	おわし海水浴場	A	1	1.6	1.8	1.7	1.8	1.8	1.6
海岸 石見部	波子海水浴場	A	1	1.4	1.8	1.9	1.8	1.3	1.4
	国分海水浴場	A	1	1.6	1.7	1.9	1.9	1.8	1.8
	田の浦海水浴場	A	1	1.8	1.7	1.8	1.6	1.7	1.4
	持石海水浴場	A	1	2.1	1.8	1.7	1.7	1.8	1.6

注) 表中の経年変化数値については、各水域において環境基準地点が複数ある場合は、その中で最も高い数値の地点の値を記載。また、**太字** は基準達成したもの(経年変化数値の単位はすべてmg/l)

(3) その他の項目

環境基準項目ではないが、要監視項目等の30物質について、4河川、2湖沼で測定したが、指針値等を超えたものは無かった。

2. 地下水の水質

8市町11地点で新規調査を行った。このうち2地点で「鉛」が、2地点で「ひ素」が環境基準を超えて検出された。この4地点の周辺状況を把握する追加調査を30地点で行ったところ、4地点で「ひ素」が環境基準を超えて検出された。

いずれの地点も周辺に原因となる事業場は無く、自然由来によるものと推測された。これらの地点については、今後も定期的に調査を行っていく予定である。

また、過去に汚染が確認された1地点について再調査を行ったが、環境基準の超過はなかった。